

## 《ア行》

	植物名等	分類	内容による分類	内容	回答
1	アイビー	観葉	育て方	アイビーは室内でも育つか。	育たないことはないが、葉が柔らかくなり、観葉植物としての価値をなくしてしまうので、春から秋までは外の半日陰で日当たりもあり、風通しのよいところに置いた方がよい。
2	アオバハゴロモ	その他	病害虫(防除)	今年はトビムシ(白い綿に覆われ、今頃は成虫で青緑色)が多くて困っている。	1. アオバハゴロモのことである。防除のポイントは発生初期の防除。幹に産卵し孵化すると綿をかぶり、その中で幼虫が大きくなる。小さいうちは綿も少なく飛ぶのも10cm位。大きくなると綿も多くなり薬も効きにくくなる。
3	アカダイコン	野菜	診断	群馬から持ってきた苗を植えたが倒れてしまい、葉を虫に食べられてしまう。どうしたらよいか。ヨトウムシか。	野菜は播種から大きく育つまで手入れが必要。植えっぱなし、蒔きっぱなしでは育たない。虫がいたら手でとること。それでも防げない時は薬を使う。ヨトウムシは夜に出てくる。
4	秋植えの花壇	その他	植え方	花壇にコスモスを植えている。その後に植えるもので何か良いものがないか。早く植え付ければ早く花が咲くか。	1. 代表的なものはパンジー。但し苗作りは8月に始める。 2. 苗は直播きは難しく育苗が大変なので、購入が一般的。 3. 植物はすべて気温と日量によって開花が決まる。早く種を蒔いても大きくなるだけで、咲くのは同じ時期に。
5	アゲラタム	草花	育て方・植え方	花壇に植える場合の株間・肥料・管理など	植える場所に石灰を散布し、耕す。1週間後、堆肥を”植え溝”に入れ、土と混合する。肥料は化成肥料を”植え溝”に入れ土を被せて、株間は15～20cm位にして植える。夏に花が終れば切り戻し剪定をする。
6	アサガオ	草花	育て方	まく時期と育て方について	5月中～下旬まき(水に1晩漬けてから播く)。日当たりの良いところに直播するか鉢播きする。支柱を立てて育てる。
7	アザレア	庭木	育て方	刈り込みの時期はいつか。又、葉が白くなっているのはどうしてか。	花が終わったら刈り込んで、大きさや形を整える。葉が白くなったのは、乾きかグンバイムシのせいと思われる。薬剤散布が必要。
8	アジアンタム	観葉	育て方	外に出しても良いか。	霜が降りない期間外に出すのは良い。しかし、日当たりも乾燥から守ってやる管理が必要。
9	アジサイ	庭木	剪定	花がほぼ終り、剪定したいがどのように切ったら良いか。	1. 花冠のついた枝を上から下へ順次見ていくと、葉(対生)の付け根に小さな新芽が目につく。そこを切るのが良い。他の枝も同様に。 2. 剪定の時期が大切で、6～7月に行う。8～12月に剪定すると、折角できた花芽がなくなり、来年の開花が望めなくなる。

10	アジサイ	庭木	診断	花が咲かない。どうしてか。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 剪定の時期が悪い。</li> <li>2. 6～7月、脇芽を確認して切る。その後は一斉に枝先を切ってはいけない。</li> <li>3. 秋から年末にかけて乱れた枝を切りたくなったら、間引き剪定を行なう。</li> </ol>
11	アジサイ	庭木	植え方	鉢植えの植替えはいつ頃か。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 葉が落ちている間ならいつでも良い。</li> <li>2. 10～11月か2～3月が良い。</li> </ol>
12	アジサイ	庭木	診断	赤花を購入したが赤くならない	土質をアルカリ性に近づけないと、花の色が出ない。苦土石灰を使用して植え付けると良い。
13	アジサイ	庭木	病虫害(防除)	白い飛ぶ虫がつく。	アオバハゴロモと思われる。害はあまりないが、スミチオンで防除する。
14	アジサイ	庭木	増やし方	挿木の時期はいつ頃が良いか。	6月末～7月上旬頃にすれば良い。土は鹿沼土か赤玉土の混合でよい。
15	アジュガ	草花	育て方	日陰に植える植物を知りたい。	アジュガはほふく性で陰地のグランドカバーに良い。耐寒性にも富み丈夫である。株分けで増殖する。
16	アスナロ	庭木	診断	幹の中間に巾40cm位の空洞が見える。これは病気か。又枯れる心配はないのか。	樹齢25年位なら、その位の空洞では枯れない。病気でもない。但し台風など強風が吹いて折れることは考えられる。
17	アッサムニオイサ	庭木	育て方・増やし方	白い香りの良いサクラ様の花が咲いた後鉢植え(5号位)して、葉も伸びてきた。全体で高さ30cm位、ビワ様の葉が大きく横にも広がってきたので切りたい。又挿し木が出来るといいが。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入手して1度鉢植えし、高さ30cm位では、2～3年はそのままで良い。植え替えは年1回落葉期。</li> <li>2. 剪定は大きくなりすぎた時や樹形が乱れた時に行う。全体の大きさから見てまだその時期ではない。行なう時は間引き剪定が良い。</li> <li>3. 挿し木は、6月にその年に伸びた枝を葉2枚をつけ、長さ15cm位に切り、葉は大きいので2/3位に切る。用土は赤玉又は鹿沼土</li> </ol>
18	アボカド	果樹	利用法・特性	種子を植えて5～6年経過しているが、実はいつ頃なるか。	接ぎ木の場合は3～4年で実をつけるが、実生(種子から発芽させて新しい苗を得ること)の場合は6年位経過して実をつける。肥料を施したり鉢替えしたりするなどの管理が必要。

19	アマナツ	果樹	診断	いつ頃から収穫ができるか。	年により多少時期が変わるが、普通は3~4月中頃には収穫できる。
20	アリッサム	草花	植え方	どのように植えたら良いか。	寒さに強い。鉢植えでも地植えでも大丈夫。
21	アルストロメリア	草花	育て方	鉢植えを室内に入れたが、これからの寒さ対策はどうしたら良いか。	寒さには比較的強いが、鉢植えはできれば冬の間軒下の暖かい所に置いた方が株張りが良くなる。水は切らさないように。春になってからは露地植えにすると良い。
22	アルストロメリア	草花	育て方	鉢植えを置くのは、室内か。軒下が良いとも聞いたが、どうしてか。	アルストロメリアは寒さに弱く、茎が枯れてしまうので、冬は室内に取り込む場合がある。但し、軒下やベランダでも南向きの陽当りの良い所なら越冬も大丈夫。
23	アロエ	観葉	植え方	大きくなってきたので植え替えをしたいがどうしたらよいか。	1. 小さくしたいのなら切り詰めるのも1つの方法。また、挿木をしたり根元から出た小苗を移植するのも良い。 2. 土は普通の土でよい。 3. 根元から出る芽は夏にかけて出てくる。
24	アロエ	観葉	育て方・増やし方	大きく育った葉を取ってしまったが、後はどうしたらよいか。	先端部分を切り取って挿し芽をすればよくつく。鉢植えで育てるには、赤玉土と腐葉土を混ぜて本植えするとよく育つ。あとは水やりと液肥を月1~2回施せば良い。
25	アロエ	観葉	増やし方	アロエが伸びすぎて頭が重い。鉢が倒れるので小さくしたい。挿木ができるか。	1~2葉つけて上を切り落とす。先端や地際から出る葉を茎挿しするとよく根付く。(時期は6月頃)
26	アンズ	果樹	剪定	剪定方法と切る時期は	木が若いうちはあまり切らずに整枝を主に考えたほうがよい。時期は通常は落葉期で、整枝は7月に軽く行うようにする。
27	アンズ	果樹	育て方	アンズの種を拾ってきたが、まいて育てれば食べられるような実がなるか。	実生繁殖した果樹は、通常親と同じものではない。実生したものに接ぎ木をするのがよい。
28	アンズ	果樹	剪定	管理して4年。徒長枝(不調和に伸びた長い枝)が多く出ているが、切った方が良いか。切り方は?	骨格が出来ていれば徒長枝は根元から採ること。途中で切ってはいけない。短い枝は残すこと。残して伸ばしたい枝は、枝先を1/3位切除する。
29	イチゴ	野菜	育て方	イチゴをプランターに植えているが、小さな実が2~3個つくだけで、大きな実にはならない。毎年つるがのびるが、全部切っている。	1. イチゴは毎年5~6月にのびてくるランナーの先の子どもを育てて、9月頃定植する。 2. 培地は出来るだけ、肥沃な土が良い。 3. 露地栽培は、9月に定植し、2月下旬頃から追肥を行い(20日間隔位)開花・収穫を行う。 4. 老化した親株で収穫も実の肥大もどめない。

30	イチゴ	野菜	育て方	イチゴを作りたいがどうしたら良いか。	9～10月に入ってから苗を買い求めて植え付ける。その前に土づくりをして準備する。土づくりは土を掘り起こし、苦土石灰と堆肥を全面にバラ蒔いておく。植付け前に短冊型にして植え付ける。(できれば北側に霜除けをすると良い)
31	イチゴ	野菜	診断	苗を10月上旬に植え付けた所、花が咲いてきた。これから冬はビニールでも掛けた方が良いか。	定植後の天候で、開花したと思われる。寒くなるとそのままでは大きな果実にならない。ビニールのトンネル掛けも大型で、時には暖房も必要で普通は出来ない。露地栽培では冬の間の花は摘んだほうが良い。
32	イチゴ	野菜	育て方	鉢植えでワラを敷いている。花が咲いた。寒くなったらビニールを掛けた方が良いか。	1. 露地栽培の物は寒い時期に花が咲いても、実の肥大は無理。摘み取って株を大事にしたい。 2. 防寒(乾燥)のために敷きワラや穴あきのビニールを株元に敷くのは良い。が頭から掛けるのは良くない。夜間にかえって低温になってしまう。
33	イチゴ	野菜	施肥	プランターに植えてある。追肥はいつ頃が良いか。	普通は11月頃株元に施す。中心の葉が伸び始めたら、株から少し離れた所にバラまき、土をかけておく。土が乾かないようにワラを切ったものを少し厚めに敷いておく。水遣りも忘れずに。
34	イチゴ	野菜	診断	葉の縁が枯れてきたが、どうしてか。	水不足が主な原因で病気も発生している。被害葉は切り取る。黒色フィルムもできれば早めに敷いておくと良い。
35	イチゴ	野菜	育て方	プランター植え。花が咲き始めたがどのようにしたら良いか。	株の周りにビニールかワラを敷いて、土のハネ上がりを防ぐようにして外に出した方が良い。
36	イトヒバ	庭木	剪定	植えて30年の木で昨年5月に剪定したが、今はボサボサで枯枝が増えている。	毎年春に整枝するのが普通。まず枯枝を切っておき、春になってから整枝するしかないと思われる。
37	イラガの防除	その他	病虫害(防除)	庭木にイラガがついて、取ろうとしたら手を刺された。防除方は。	1. イラガはいろんな樹木につく。 2. 防除は早期発見して、防除する。 3. 市販のスプレー殺虫剤で防除するのが良い。
38	インゲン	野菜	植え方	インゲンの育て方は?	1. インゲンは、堆肥、化成肥料を全面散布でも良い。 2. 2～3cm位のクワで溝を作り、30cm間隔位に種子を置き、その間に堆肥1つかみ、化成1つまみを置き、覆土する。 3. 覆土は7～8cm位寄せて平形の畦をつくる。
39	インゲン	野菜	施肥	インゲンも堆肥を使ったほうがよいか。	前作が野菜(キャベツ等)で、肥料をたくさん施用した場合は、施肥しなくても良いが、サツマイモ、とうもろこし等吸肥力が大きいものを作った場合は、堆肥も化成も少なめでも施したほうが長く収穫できる。

40	インゲン	野菜	育て方	ツルがどんどん伸びて、花が咲いていく。摘芯するのか。	下から5～6節は芽かきを行い、脇芽が伸びてきた頃から、古葉は摘葉した方が良い。
41	インゲン	野菜	育て方	ツルナシインゲンの播き方は。	まず若土石灰を全面に撒き、かき混ぜておく。畦に堆肥と化成肥料を撒いて、間土を被せてから、種子を播くようにする。
42	インパチェンス	草花	病虫害(防除)	苗を植えて3日目。虫が葉を食べたようだ。ひどいのは茎だけになっている。	1. 色々な虫の幼虫がつく。昼間見ても見つからないなら、ヨトウムシ(夜盗虫)の可能性が高い。 2. ヨトウムシは、昼間は土の中に潜っていて、夜7～8時頃になると出て来て、害を及ぼす。 3. 夜に虫を探るか、昼間に被害株の根元周りを40～50cm位、深さ2～3cm土を掘って、虫を捕殺する。それでも見つからず被害が続くようなら、殺虫剤(スミチオン乳剤1000倍)を使用する。
43	インパチェンス	草花	剪定	切り戻しのしかたを知りたい。	1. インパチェンスは暑さに弱いので、梅雨明け頃までに伸びすぎた位まで繁茂した場合、短く切り戻して夏越しをしやすくする。従って成長の度合いを見て枝切を行なう方が良い。 2. 時期は7月上旬～8月上旬
44	植木の寒肥	その他	施肥	冬に寒肥はやった方が良いのか。	寒い時期の施肥は春芽が動き出す頃効いてくる。昔から有機質肥料を施すやり方がある。肥料というより、腐葉土や堆肥を施し、株元を軟らかくするのが良い。
45	ウツギ	庭木	剪定	花が咲かないが、どのように剪定したら良いか。(鉢植え)	花が咲いていないのは、前年の枝切りの時期が悪かったのと、かなり枝が込み過ぎているのが原因と思われる。
46	ウツギ	庭木	植え方	鉢植えを地植えにしたい。	植え方は鉢から抜き、植え穴にそのまま植える。植え穴には腐葉土を2～3つかみ位入れて、土とよく混ぜその中に植える。根鉢を崩して植えるのは鉢で3～5年も経っていて落葉期に植える場合。緑葉がついている頃は根鉢のまま植えるのが良い。
47	ウメ	果樹	剪定	30年以上の木で、あまり実がつかないので、枝の処理をしたい。剪定方法は？	落葉期に思いきり枝を切り、全体の形を作る。その場合、上向きの枝と下向きの枝をまず切り、又、影になっている細い枝も元から切り落とす。
48	ウメ	果樹	病虫害(防除)	実にヤニが出る原因と防除について知りたい。	ヤニ症は生理的なもので、ホウソウ欠乏とも言われている。微量要素肥料を施してみる。
49	ウメ	果樹	診断	実を収穫したが、実にヤニがついていた。そのまま使っても良いか。	実をきれいに洗ってから、一つ一つ水を切って利用する。
50	ウメ	果樹	診断	徒長枝の先を剪除したが、先の方は分枝が出るが、中間から下の方は枝が出ない。なぜか。	日当たりが悪いせいなので、適当に間引きして日当たりを良くすれば脇芽は出てくる。

51	ウメ	果樹	診断	花が少なく、実がならない。	1. 花が少ないのは、枝の切り方に問題がある。花を見るウメは12月に枝を整える剪定をし、花後に切り戻し剪定を行う。剪定の基本を理解して行なうこと。 2. 花が咲いても着果しない場合は、花粉の不足か着果しにくい品種によるもの。その場合は交配樹が必要。 3. 一般的には隣家の梅の木より花粉をもらって(虫媒・風媒)着果することが多い。
52	ウメ	果樹	剪定	管理して4年。徒長枝が多く出ているが、切った方が良いか。また、切り方は？	骨格が出来ていれば徒長枝は根元から採ること。途中で切ってはいけない。短い枝は残すこと。残して伸ばしたい枝は、枝先を1/3位切除する。
53	ウメ	果樹	育て方	紅梅と白梅を植えている。紅梅は実がよくなるが、白梅はほとんどつかないので接ぎ木をしたい。白梅は昨年9月頃、葉が一斉に落葉し、その後また葉がついた。剪定は6月に実を収穫した後に行っている。	接ぎ木の一般的な方法は、1~2月に穂木を採り冷蔵しておき、3月頃接木する。6~7月は芽接木、11月は取接木がある。方法は柿同様。皮が薄いので丁寧に行う。開花しないのは剪定の仕方のせい。6月は間引き位で、11~12月が適期。落葉の原因は根の病気が第一に考えられる。
54	ウメ	盆栽	植え方	長寿梅が今咲いている。植替えはいつやったらいいか。	1. 普通は10月頃から2、3月頃、開花前がよい。 2. 用土は、赤玉の小と中を半々混ぜたもの、肥料はやらないこと。
55	ウメ	盆栽	植え方	長寿梅の盆栽があるが、植替えはいつ頃か。	落葉期間の12月~2月位に毎年行う。用土は硬質赤玉土が良い。
56	ウラシマソウ	山野草	植え方	引越しするので、掘りあげて運びたいが大丈夫か。茎は枯れていない。	株から掘り上げ、土を落とさないようにして運ぶ。
57	エダマメ	野菜	育て方	植え方は？	よく畑を耕して石灰を撒き、4月上~中旬になったら25cmの株間で60cm畦巾で4~5粒撒き、2本立てとし、5~6枚で摘心する。2回ほど追肥する。
58	エダマメ	野菜	育て方	エダマメの肥料を知りたい。	エダマメの肥料として特別なものはない。普通の化成肥料でよい。
59	エニシダ	庭木	剪定	今期は、花が全然咲かなかったが、どうしてか？(鉢植え)	前年の枝切りの時期が遅かったことと、枝が込み過ぎているので、花がつかなかったものと思われる。
60	エノキ	庭木	病虫害(防除)	エノキの表皮が盛り上がっている。病気か。	虫(アブラムシやダニ)の吸汁によって表皮が異常になった状態のもので、害虫防除が必要。

61	エピソードルム	洋ラン	育て方	花が咲かない。高芽が出ている。	根がたくさん出ていれば、植替えを4～5月に行う。高芽は採って植える。肥料は、5～6月油粕を施し、後は液肥を月2～3回与える。
62	エピソードルム	洋ラン	育て方	高芽が出て、花が咲かない。	暖かくなって10℃を越えるようになったら、戸外で日光にあて育てる。冬越しは7℃以上を保つ。肥料は1000倍の液肥を4～9月まで与える。高芽が出るのは根が傷み、水のやり過ぎ。植替えは水ごけか、バークと軽石の混合。
63	エビネ	山野草	植え方	鉢植えのエビネがあるがどうして育てたらよいか	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. エビネは本来、落葉樹林の傾斜地に自生するもの。従って地植はまわりよりも高い位置にして排水をよくする。</li> <li>2. プランターに植える場合は、赤玉土中粒に大粒を半分位混ぜて植えるとよい。</li> <li>3. 肥料は、3月頃と10月頃年2回でよい。化成肥料があったら小さじ1杯くらいを株の回りに散布するくらい。</li> <li>4. 冬、葉が黒変し枯れるのは、夏場の病気の場合もあるが、冬の寒さで枯れることが多い。しかし春になれば新芽が出てくる。</li> </ol>
64	エビネ	山野草	育て方	枯れ葉は今(3月)取り除いてもよいか。	枯れ葉は病気の伝染を防ぐため、新芽から花が見え始めた頃、取り除く。通常は4月(暖冬の場合は3月でも)。できれば消毒をして取り除くと良い。
65	エンドウ	野菜	育て方	作り方と注意点	石灰を散布し酸性を改良。肥料は窒素の少ないものを全面に少なめに散布(化成肥料)。畦巾60cm×株間30cmに4～5粒蒔き、2本に間引く。ハモグリバエが発生するので殺虫剤を散布する。
66	エンドウ	野菜	施肥	肥料はいつ施したら良いか。	元肥が施してあれば、追肥は春暖かくなってツルが伸び始めてから施す。
67	エンドウ	野菜	病虫害(防除)	葉が白くなり生長が悪くなっている。防除法は。	ハモグリバエの被害。マメハモグリバエは、薬剤散布の効果は余りないが、発生を見たら薬剤散布を1～2週間おきに、3～4回位行ってみる。(オルトラン粒剤か水和剤)
68	エンドウ	野菜	育て方	実エンドウ作り方と注意点	石灰を散布し酸性を改良。肥料は1㎡当り大さじ3の化成肥料、1株当り大さじ1の追肥をして土寄せをする。畦巾60cm×株間30cmに4～5粒蒔き、3本に間引く。ハモグリバエが発生するので殺虫剤を散布する。
69	オウバイ	庭木	剪定	5年になるが、枝が垂れ下がって、花数が少ない。どうしてか。	剪定と整枝の時期が間違っていたのではないか。また、肥料をやり過ぎたようにも思われる。5月頃に整枝をして、徒長枝を元から切る程度で良い。

70	オオデマリ	庭木	病虫害(防除)	てんとう虫の幼虫らしいものが、葉を透かしてしまうが、防除法を知りたい。	農薬散布で駆除する。スミチオンかオルトラン水和剤。
71	オオバ	野菜	施肥	オオバは堆肥が必要か。	1. 基本的に野菜類は堆肥を投入するほうがよい。 2. 化成肥料も、葉物には多めに(長期の場合は追肥)。
72	オキナグサ	山野草	育て方	種まきと育て方	種まきは4~5月。細かい赤玉か鹿沼土で蒔く。本葉が2~3枚になれば移植し、日当たりの良い涼しい所で育てる。高温多湿に気を付ける。
73	オミナエシ	山野草	育て方	秋の七草を植えている。花が終わったら切った方がよいか。植替えは必要か。	1. 花が終わっても枯れるまでは花がら摘みだけで済ませ、枯れてから剪除する。 2. 鉢植えは3~5年に植え替え。新しい土を好みます。
74	オモト	観葉	診断	葉先が枯れてしまった。	冬は余り水はやらず、枯れた葉は切り落とす。春になったら必ず植え替えをやり、その時に腐った根や枯れた葉は元に近い所から切り離す。
75	オモト	観葉	育て方	鉢植えで育てているが、実が赤くならず縮んでしまうので、地面に植えたが大丈夫か。	丈夫なので特別な土に植える必要はない。鉢で実が大きくならなかったのは、水分不足の為と思われる。
76	オリーブ	果樹	育て方	鉢植えの剪定、肥料、切りつめの方法	間引き剪定と切り戻し剪定をする。重なる枝と徒長枝を整理し、上に伸びる枝を切り戻す。花芽分化は12~1月。
77	オリヅルラン	観葉	診断	オリヅルランの葉先が黒くなって枯れるのは病気か。室内に置いている。	窓ぎわに置く時が多いと思うが、こうした症状は物理的な傷によるものが多い。(カーテンの開閉で触れるなど)。強い植物なので、水はほどほどにして、葉が枯れたら取れば良い。また新しい葉が出てくる。
78	オレンジ	果樹	病虫害(防除)	ミカンハモグリガの防除法を知りたい。	7~8月にオルトラン、アクテリック剤を散布する。
79	オンシジューム	洋ラン	育て方	4月下旬からの管理方法について	置き場は、南向きの軒下に置いても良いが、直射日光には当てない。また、水と肥料はデンドロに準じて行うようにする。
80	オンシジューム	洋ラン	育て方	花が少しいているが、これから咲くか。又、葉に細かい白いものについているが、何か。	これから花芽がつき易いので、余り水を多くやらず、肥料は絶対にやらないで、霧吹き程度の湿度が欲しい。又、害虫についてはハダニとナメクジがつき易いので、害虫駆除剤を1~2回薄いものを散布しておく。